

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校校舎等外壁改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	05	71
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	経年劣化による亀裂、剥離など発生する恐れのある校舎等の外壁	意図	公共施設保全計画に基づき、修繕・改修等が必要な校舎等の外壁を選定し外壁等の改修を実施
事業内容	・亀裂、剥離など発生する恐れのある外壁の改修。			
事業開始から現在までの状況変化	・耐震補強工事と合わせて外壁改修工事を実施した学校以外の校舎は、経年劣化より外壁の改修工事を実施する必要がある。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		外壁改修工事			1	校	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・校舎等防水事業と組み合わせることにより仮設工事費等の事業費の効率化を図ることが出来る。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				26,703,533			
事業費（b）（円）				25,321,680			
うち一般財源				47,680			
職員給与費(c)(円)				1,381,853			
人役・職員(人)				0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	予算化された工事について早期に発注する。
今年度(H26)に実施した取り組み	中学校校舎の外壁改修工事を実施した。

取り組みの課題	事後保全ではなく、予防保全に移行する取り組みが必要
今後の改善計画	改修計画を作成し、効率的な施設改修に取り組む